

令和3年三重県議会定例会 予算決算常任委員会 教育警察分科会

I 議案補充説明

ページ

<予算関係>

- 議案第5号 「令和3年度三重県一般会計予算」(教育委員会関係) 1
- 議案第57号 「令和2年度三重県一般会計補正予算(第14号)」
(教育委員会関係) 28

<条例関係>

- 議案第40号 「公立学校の会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する
条例の一部を改正する条例案」 31

II 所管事項

- 1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく
報告について 32

令和3年3月16日

教育委員会

I 議案補充説明

議案第5号

令和3年度三重県一般会計予算【教育委員会関係】

歳 出

(単位:千円)

款	項	令和2年度 当初予算 (下段:令和元年度 第8号補正含む) A	令和3年度 当初予算 (下段:令和2年度 第12号補正含む) B	増減額 B-A	増減率 (B-A)/A
教育費	教育総務費	22,913,723	23,561,843 (25,533,344)	648,120 (2,619,621)	2.8% (11.4%)
	小学校費	54,440,157	53,915,166	▲ 524,991	▲ 1.0%
	中学校費	29,823,760	30,011,886	188,126	0.6%
	高等学校費	34,560,423 (35,837,202)	33,040,144 (33,321,284)	▲ 1,520,279 (▲ 2,515,918)	▲ 4.4% (▲ 7.0%)
	特別支援 学校費	12,365,932	12,997,813 (13,067,458)	631,881 (701,526)	5.1% (5.7%)
	社会教育費	810,868	598,508	▲ 212,360	▲ 26.2%
	保健体育費	525,119	518,115	▲ 7,004	▲ 1.3%
合 計		155,439,982 (156,716,761)	154,643,475 (156,965,761)	▲ 796,507 (249,000)	▲ 0.5% (0.2%)

※令和元年度第8号補正予算

- ・国の補正予算に対応し、「情報教育充実支援事業費」に1,276,779千円を計上
- ・令和2年度当初予算と一体的に予算を編成し、実施するもの

※令和2年度第12号補正予算

- ・国の補正予算に対応し、「地域とつなぐ職業教育充実支援事業費」ほか6事業に2,322,286千円を計上
- ・令和3年度当初予算と一体的に予算を編成し、実施するもの

教育委員会

令和3年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

教育を取り巻く社会情勢は、人口減少や少子・高齢化、経済や社会のグローバル化、急速な技術革新に伴う超スマート社会（Society5.0）など、大きく変化しています。こうした社会の変化や課題に的確に対応し、子どもたち一人ひとりが挑戦する気持ちを持って夢の実現に向かい、自分も他者も大切にしながら、社会に参画する力を育む必要があります。このため、誰一人取り残さない、みんなが安心して学べる教育環境のもと、次代を担う三重の子どもたちが新しい時代を「生き抜いていく力」の育成に取り組みます。

令和2年度からの本県教育のめざす姿などを示した「三重県教育ビジョン」に基づき、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の一体的で調和の取れた育成を基礎として、ICT環境を活用し、学びを広げ、深める教育活動を進めるとともに、社会の大きな変化に対して新たな価値を創造できる資質・能力を育成します。また、主権者教育や地域と連携した課題解決型の学びなどを通して、社会の一員としての自覚と責任を持ち主体的に行動できる力や、他者との絆を大切に課題を解決していく力を育みます。

特別な支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びを推進するため、切れ目のない支援体制を充実するとともに、特別支援学校の学習環境の整備を進めます。子どもたちが安心して学ぶことができるよう、社会総がかりでいじめ防止に取り組むとともに、年々増加し、その要因や背景が複雑化・多様化している不登校児童生徒について、子どもたちの社会的自立に向けて、一人ひとりに応じてきめ細かな支援ができるよう、より効果的で多様な取組を進めます。

さらに、教職員に限られた時間の中で、より効果的な教育活動を持続的に行うとともに、教職員の働き方改革を進めるため、専門スタッフや外部人材等の配置を充実します。

これまでの新型コロナウイルス感染症への対応をふまえ、感染防止対策を講じながら、学びを継続する取組を着実に進めます。

教育委員会では、このような認識のもと、次の6項目について重点的に取り組みます。

(1) 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。また、「豊かな心」を育むため、道徳教育の推進体制を充実し、道徳性を養うとともに、読書習慣の定着のため、読書経験や本の楽しさを伝え合う取組等を進めます。さらに、「健やかな身体」を育むため、スポーツの機会を拡充し、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組むとともに、生涯にわたり心身の健康を自ら管理できるよう、健康教育や食育に取り組みます。あわせて、外国人児童生徒が社会的に自立できる力を身につけるため、日本語指導に取り組むとともに、将来を見通した進路選択ができるよう支援します。

(2) 未来を創造する力の育成

変化が激しく予測困難な社会にあっても、子どもたちが社会の一員として自覚と責任を持って、主体的に行動できる力を育みます。ICT環境を活用して、情報活用能力の向上や、一人ひとりに応じた基礎学力の定着、子どもたちの学びを広げ、深める授業に取り組むとともに、感染症や災害発生時の緊急時における学びの継続や、他県や海外の学校を結んで行う学習活動など、オンライン教育の取組を進めます。また、英語教育や郷土教育を推進し、世界や地域で活躍できるグローバル人材の育成や、地域や企業と連携したキャリア教育を推進します。

(3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支える教育を推進するため、「パーソナルファイル」を活用して支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。

さらに、特別支援学校における施設の狭隘化や老朽化に対応するため、移転や改修に向けた取組を進め、子どもたちの学ぶ環境を整えます。

(4) 安全で安心な学びの場づくり

「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして社会総がかりで取り組みます。不登校児童生徒へのきめ細かな支援をより効果的に行うため、心理や福祉の専門的見地からの支援を行う専門人材の配置を拡充するとともに、有識者の助言を得て行う訪問型支援や、教育支援センターを核とした不登校支援に取り組みます。県立学校施設の長寿命化計画に基づき、トイレの洋式化など設備面での機能向上も含め、計画的な老朽化対策に取り組むとともに、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを進めます。

(5) 地域との協働と信頼される学校づくり

学校・家庭・地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクールの仕組みを導入する市町や学校の拡充に取り組みます。県立高校の特色化・魅力化を進めるとともに、これからの高校生に必要な学びを実現する高校のあり方について検討を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、経験や職種に応じた研修を計画的に実施します。効果的な教育活動を行うとともに、教職員の働き方改革を進めるため、専門スタッフや外部人材等の配置を充実します。

さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝え、活用されるための取組を推進します。

(6) 新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続

令和2年度の取組をふまえ、衛生物品の配備や、登下校時における「三つの密」を避けるためスクールバスの増便、教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフの配置など、学校における感染防止対策を講じます。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、高校生一人ひとりの希望に応じた就職が実現できるよう支援を行うとともに、補充的な学習に係る支援、奨学給付金の増額などに取り組みます。

2 主な重点項目

(1) 「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

① 学力向上推進事業

予算額 24,544千円

[学力向上推進プロジェクトチーム(224-2931)]

令和3年度第1回「みえスタディ・チェック」を実施するとともに、第2回(令和4年1月)に向けて「みえスタディ・チェック」やワークシートの問題について、CBT(Computer Based Testing)化への対応を進めます。また、モデル校を指定し、学力向上アドバイザーの指導・助言を得ながら、学習端末を活用して、子ども一人ひとりに応じた効果的な指導方法の研究に取り組みます。

② (新) ICTを活用した子ども一人ひとりの学びのつまずき克服事業

<事業実施期間: 令和3年度>

予算額 11,706千円

[学力向上推進プロジェクトチーム(224-2931)]

「みえスタディ・チェック」をCBT化し、解答後にタイムラグなく、わからなかった問題に対応するワークシートで学び直しができるシステムを構築し、令和3年度第2回(令和4年1月)の「みえスタディ・チェック」から実施します。あわせて、子ども一人ひとりの理解の状況や学習ニーズに応じた学習が進められるよう、国語、算数・数学のワークシートを単元別に提供できるシステムとします。

③ 少人数教育推進事業

予算額 1,403,545千円

[教職員課(224-2958)]

小学校の少人数学級について、国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことを踏まえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生の30人学級(下限25人)に加え、3年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境としていきます。中学校については、引き続き1年生での35人学級(下限25人)を実施します。

また、県単定数および非常勤の配置により、少人数指導に取り組む学校においては、「効果的な少人数指導推進ガイドブック」を活用して、引き続き、教員の役割分担によるティーム・ティーチングや、小学校算数と中学校数学の習熟度別指導に取り組みます。

④ 道徳教育総合支援事業

予算額 4,554千円

[小中学校教育課(224-2963)]

道徳教育の充実を図るため、学校等へ道徳教育アドバイザーを派遣し、「考え、議論する道徳」の効果的な指導方法等に係る具体的な指導・助言を行うとともに、三重県道徳教育推進会議や公開授業をとおして、その成果を普及します。

⑤ 子どもと本をつなぐ環境整備促進事業

予算額 718千円

[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

「第四次三重県子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書習慣の形成に向けて、家庭、地域、学校等で読書活動が進められるよう、読書活動関係者の研修・交流会、家読(うちどく)やビブリオバトルの普及啓発、読書活動実践フォーラム等を行います。

⑥ みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業

予算額 5,965千円

[保健体育課(224-2973)]

オリンピック・パラリンピアンによる講演や体験学習などを行うことで、子どもたちのスポーツへの興味・関心をさらに高めます。子どもの発達段階に応じた運動習慣の定着や生活習慣等の改善を図るため、教員対象の研修会を開催します。

⑦ (一部新) みえ子どもの元気アップ部活動充実事業

予算額 48,543千円

[保健体育課(224-2973)]

部活動の指導体制を充実するとともに、教員の負担軽減を図るため、中学校・高校に、顧問として単独で専門的な指導や引率を行える部活動指導員を増員します。また、高校の運動部で技術指導を行う外部指導者(サポーター)を増員します。さらに、休日の部活動を地域で実施する場合の地域の人材や受け皿などの課題への対応について、モデル地域を指定して研究します。

⑧ 運動部活動支援事業

予算額 93,215千円

[保健体育課(224-2973)]

中学校、高校の県体育大会や東海大会の開催経費の負担および全国大会等の参加に係る旅費等の経費を負担します。

⑨ 多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業

予算額 32,677千円

[小中学校教育課(224-2963)]

市町における外国人児童生徒の受入れや日本語指導・適応指導に係る取組への支援を行うとともに、学習支援等を行う外国人児童生徒巡回相談員の派遣やオンラインによる日本語指導等に取り組みます。また、外国人児童生徒に対し、日本の学校制度や入学手続など就学に必要な情報を提供します。夜間中学等の就学機会の確保については、令和2年度のニーズ調査結果や検討委員会での議論をふまえ、令和3年度は義務教育段階の内容に係る学び直し教室を試行的に実施し、どのような方策が適切か検討を進めます。

⑩ (一部新) 社会的自立をめざす外国人生徒支援事業 予算額 21,811千円
[高校教育課(224-3002)]

外国人生徒が地域で社会的自立を果たし、社会の一員として活躍できるよう、学習支援や進路相談を行う専門員(ポルトガル語、スペイン語、フィリピーノ語等)6名および日本語指導アドバイザー1名を県立高校に配置します。また、日本語指導が必要な外国人生徒が、社会生活に必要な日本語や、日本の社会制度や文化を学ぶ「日本語学習クラブ」を開設します。

⑪ 未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部) 予算額 7,386千円
(高校生就職実現事業(外国人生徒等対応分)) [高校教育課(224-3002)]

外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行う就職実現コーディネーターを増員するとともに、進学・就職に関するセミナーを開催します。

※就職実現コーディネーター:全17名のうち、5名分(外国人生徒等対応分)

⑫ 早期からの一貫した教育支援体制整備事業(一部) 予算額 2,804千円
(特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業) [特別支援教育課(224-2961)]

特別支援学校に在籍する外国人児童生徒および保護者を支援するため、通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置します。

⑬ (一部新) 就学前教育の質向上事業 予算額 3,210千円
(114,210千円 ※R2年度2月補正予算を含むベース)
[小中学校教育課(224-2963)]

幼稚園・認定こども園・保育所における幼児教育の質の向上と保幼小の円滑な接続を進めるため、幼児教育センターに専門的な知識を有する幼児教育スーパーバイザーを配置するとともに、幼児教育アドバイザーを市町へ派遣し、研修支援等を行います。また、国事業を活用して、公立幼稚園における感染症対策に必要な衛生物品等や、端末などICT環境の整備に対して、市町に補助を行います。

(2) 未来を創造する力の育成

① 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業 予算額 20,907千円
[教育政策課(224-2951)]

地域の実践パイロット校において、県立高校と地域をつなぐコーディネーターを活用して、生徒が地域課題や特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことで、地域の魅力と課題を知り、解決方策を考え実践する人材を育成します。実践パイロット校におけるこれまでの取組をもとに、学識経験者や地域関係者等で構成する推進委員会での検討をふまえ、他者と協働する力や自己と社会の関わりを考える力など、これからの社会の変化に対応するために必要な力を育成する「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築します。

② 未来へつなぐキャリア教育推進事業（一部再掲） 予算額 27,036千円
[高校教育課(224-3002)]

新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援、地域の魅力ある企業や仕事内容等を生徒に情報提供する就職実現コーディネーターを増員します。また、外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行います。

③ (新) マナビバミエ若き起業家育成事業 予算額 6,348千円
<事業実施期間:令和3年度> ※県民参加型予算事業 [高校教育課(224-3002)]

高校生が将来の起業につながる力を身につけることができるよう、県内外で活躍する起業家の講演や指導により、商品開発や市場開拓について学ぶとともに、フィールドワークや地元関係者等との交流をとおして、高校生ならではの発想を生かしたビジネスプランの作成・提案等に取り組みます。

④ (一部新) 地域とつなぐ職業教育充実支援事業 予算額 29,542千円
(1,818,602千円 ※R2年度2月補正予算を含むベース)
[高校教育課(224-3002)]

職業学科における実習環境を整備するとともに、生徒がより高度な専門的知識・技術を習得できるよう、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援します。また、GAPを生かした学習を通じ、農業に関する実践力を身につけ、経営者や地域のリーダーとなる人材を育成します。国事業を活用して、工業高校や農業高校等に技術革新の進展やデジタル化に対応した産業教育設備や機器を整備するとともに、将来に地域産業の核となる人材を育成するための指導の研究に取り組みます。

⑤ (新) 実習船建造事業 予算額 12,606千円
<事業実施期間:令和3年度~令和5年度> [高校教育課(224-3002)]

水産高校の航海実習における生徒の安全確保や、最先端の航海技術を習得できる環境を整えるため、実習船「しろちどり」に代わる、新しい実習船の建造に係る設計を行います。

⑥ 学びのSTEAM化推進事業 予算額 2,825千円
[高校教育課(224-3002)]

これからの時代に求められる創造的に課題を発見し解決する力を育むため、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(s)(リベラルアーツ・教養)、Mathematics(数学)を活用した文理融合・教科横断的な課題解決型の学びをとおして、論理的思考力や探究力を育成するSTEAM教育の実践研究に取り組み、Society5.0の時代を生き抜く人材を育成します。

- ⑦ 情報教育充実支援事業 予算額 275,334千円
(436,074千円 ※R2年度2月補正予算を含むベース)
[高校教育課(224-3002)]

県立学校において、教科「情報」で学ぶプログラミング教育や情報デザインなど、専門的な実習に対応する学習用端末を整備します。学びの保障と教育の機会均等の観点から、低所得世帯の高校生に対する貸与等を目的とした国の補助金を活用し、生徒への貸与や学校で活用するための学習用端末を整備します。

- ⑧ (一部新) 高等学校学力向上推進事業 予算額 61,101千円
[高校教育課(224-3002)]

生徒の学力の定着・向上を図るため、県立高校に対して指導・助言等を行います。GIGAスクールサポーターを配置し、県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるとともに、ICTを活用した授業において、著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担します。県立高校3校をモデル校に指定して、AIドリル教材を活用し、生徒の学力の定着状況や学習意欲の変容を把握し、一人ひとりに応じた効果的な学びに係る検証に取り組み、授業改善につなげます。また、他の学校の授業を受講できる遠隔授業に係る研究に取り組みます。

- ⑨ 世界へはばたく高校生育成支援事業 予算額 11,803千円
[高校教育課(224-3002)]

高校生の留学の促進および海外研修旅行の実施をとおして、グローバルな視野を育み、主体性や積極性の向上を図るとともに、高校生を対象にした「レベル別英語ディベートセミナー」を開催し、英語での発信力や論理的思考力の向上を図ります。また、科学に対する興味・関心を高めるため、三重県高等学校科学オリンピック大会を開催します。

- ⑩ 英語教育推進事業 予算額 1,642千円
[小中学校教育課(224-2963)]

中学校においてモデル地域を指定し、英語の音声付きウェブ教材を活用し、授業改善に取り組むとともに、小中学校教員を対象に、新学習指導要領をふまえた英語授業の改善に係る研修会を実施します。また、中学生が三重の魅力英語で一枚紙にまとめて発信する「ワン・ペーパー・コンテスト」を実施します。

- ⑪ 課題解決型学習(PBL)を通じた新しい郷土教育推進事業 予算額 281千円
[小中学校教育課(224-2963)]

郷土について誇りと愛着を感じ、将来地域で活躍する意欲と態度を身につけることができるよう、中学生が学校や地域の課題について解決策を考え、提案する課題解決型学習(PBL)の手法を取り入れた取組を支援するとともに、その成果を発表する実践発表会を実施します。

(3) 特別支援教育の推進

- ① 早期からの一貫した教育支援体制整備事業（一部再掲） 予算額 18,007千円
[特別支援教育課(224-2961)]

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、自立と社会参画を図るため、パーソナルファイルの活用促進や高等学校への発達障がい支援員の配置、通級による指導を担当する教員等の発達障がいに係る専門性の向上を高める研修を行います。また、特別支援学校に在籍する外国人児童生徒および保護者を支援するため、通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置します。

- ② 特別支援学校メディカル・サポート事業 予算額 5,501千円
[特別支援教育課(224-2961)]

医療的ケアの必要な子どもが身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、常勤講師（看護師免許有）および教員が連携して医療的ケアを実施するとともに、研修会の実施による専門性の向上や、指導医等の指導・助言を得ながら校内のサポート体制の構築等に取り組みます。

- ③ 特別支援教育に係る教職員研修（教職員研修事業の一部） 予算額 170千円
[研修推進課(226-3572)]

経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修を実施します。また、特別支援学級等を新たに担当する教員を対象に障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修を実施します。

- ④ 特別支援学校就労推進事業 予算額 6,207千円
[特別支援教育課(224-2961)]

特別支援学校のキャリア教育プログラムに基づく計画的・組織的なキャリア教育を推進するとともに、外部人材を活用した職場開拓や、企業等と連携した職場実習等を実施することで、高等部生徒の進路希望の実現を図ります。

- ⑤ 特別支援学校施設建築費 予算額 272,016千円
[学校経理・施設課(224-2955)]

特別支援学校の施設について計画的な老朽化対策を進めます。杉の子特別支援学校の施設狭隘化へ対応するため、知的障がいのある中学部の生徒が石薬師分校で学習できるよう校舎の一部改修に係る設計を実施するとともに、鈴鹿・亀山地区の肢体不自由のある児童生徒が、令和5年度から杉の子特別支援学校に通学できるよう通学区域の見直しに取り組みます。盲学校および聾学校については、老朽化対策・安全対策として城山特別支援学校の隣地へ移転することとし、令和3年度は新たな校舎および寄宿舎の建築に係る設計を行います。

(4) 安全で安心な学びの場づくり

① (一部新) いじめ対策推進事業

予算額 13,040 千円

[生徒指導課 (224-2332)]

弁護士によるいじめ防止授業に取り組むとともに、中学生と高校生がいじめをテーマにした紙芝居を創作し小学校等で上演することを通じて、いじめを自分事として考える機会を創出します。また、インターネットトラブルや新型コロナウイルス感染症によるいじめや人権侵害から児童生徒を守るため、ネット上の不適切な書き込みを検索するネットパトロールを年間をとおして実施するとともに、ネット上の不適切な書き込みを発見した場合に、その内容を投稿できるアプリ「ネットみえ〜る」を引き続き運用します。これらの取組から得られた事例等に基づき、児童生徒がいじめや誹謗中傷について考え、学ぶことができる教材を作成します。

② (一部新) スクールカウンセラー等活用事業

予算額 361,973 千円

[生徒指導課 (224-2332)]

不登校やいじめの被害にあっている児童生徒、不安や悩みを抱える児童生徒からの相談や心のケアに対応するため、スクールカウンセラー (SC) について各学校への配置時間を拡充するとともに、新たに特別支援学校や教育支援センターにも配置します。スクールソーシャルワーカー (SSW) についても配置時間を拡充し、各学校および教育支援センターからの要請に応じた派遣、福祉や医療機関等の関係機関と連携した支援を行います。さらに、SCやSSW等の専門家とも連携して、児童生徒の日常的な相談に対応するため、新たに教育相談員を中学校と高校に配置します。

③ 教育相談事業 (一部)

予算額 11,007 千円

(SNSを活用した相談事業)

[研修企画・支援課 (226-3516)]

いじめ等の早期発見、早期対応を図るための相談窓口として、引き続き多言語でも相談できる「子どもSNS相談みえ」を実施します。

④ (一部新) 不登校対策事業

予算額 29,258 千円

[生徒指導課 (224-2332)]

教育支援センター3か所をモデルとして指定し、SCとSSWを配置し、専門的な支援を行うとともに、不登校支援アドバイザーの助言を得ながら訪問型支援に取り組めます。不登校の背景や要因、学校の対応や専門家による相談状況などその結果をデータベース化します。また、ストレスや不安をうまく受け止め、回復する力を高める「レジリエンス教育」に取り組むための実践プログラムを作成し、モデル校区で実施します。小中学校の連携による「魅力ある学校づくり」を進めるとともに、みえ不登校支援ネットワークの取組への支援や、学校と民間施設 (フリースクール等) との連携を進めるなど、不登校児童生徒の多様な学びを支援します。さらに、保護者を対象とした相談会を開催し、保護者間の交流や情報提供の機会とします。

⑤ 学校防災推進事業

予算額 12,970千円
[教育総務課(224-3301)]

防災ノートを新入生等に配付するとともに、体験型防災学習等の支援、学校防災リーダー等教職員を対象とした防災研修、中高生による東日本大震災の被災地でのボランティア活動や交流学习を実施します。

⑥ 災害時学校支援事業

予算額 1,732千円
[教育総務課(224-3301)]

災害時において学校教育が早期に再開できるよう、令和2年度に設置した「三重県災害時学校支援チーム」において、避難所の開設・運営や学校の再開準備、児童生徒の心のケアなどを行うため、災害時の学校運営に関する専門的な知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成します。また、民間団体・企業等との連携による災害時の子ども支援の仕組みづくりを進め、市町との連携につなげていきます。

⑦ 校舎その他建築費

予算額 1,672,323千円
[学校経理・施設課(224-2955)]

県立高校について、施設の安全性を維持するため、県立学校施設の長寿命化計画に基づき、トイレの洋式化など設備面での機能の向上も含め、計画的な老朽化対策に取り組めます。

(5) 地域との協働と信頼される学校づくり

① 地域と学校の連携・協働体制構築事業

予算額 6,226千円
[小中学校教育課(224-2963)]

地域とともにある学校づくりを進めるため、地域学校協働本部の取組や、各市町のコミュニティ・スクールの導入に向けた取組を支援します。また、地域未来塾など放課後等に補充的な学習支援に取り組む市町に対して補助を行います。

② 教職員研修事業（一部再掲）

予算額 27,765千円
[研修推進課(226-3572)]

子どもたちが学習指導要領で求められる資質・能力を身につけられるよう、「令和3年度三重県教員研修計画」に基づき、主体的・対話的で深い学びの授業改善につながる研修や、教員が1人1台端末を効果的に活用した授業が行えるよう、ICT活用指導力の向上に向けた研修等を計画的に実施します。

③ 学校における働き方改革推進事業

予算額 294,928千円

[教職員課(224-2959)]

限られた時間の中で子どもたちと向き合う時間を確保し、より効果的な教育活動を持続的に行うため、感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、すべての公立学校(小中学校497名、県立学校75名(分校を含む))に配置します。

④ 地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業(再掲)

予算額 20,907千円

[教育政策課(224-2951)]

地域の実践パイロット校において、県立高校と地域をつなぐコーディネーターを活用して、生徒が地域課題や特色ある産業を題材に地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むことで、地域の魅力と課題を知り、解決方策を考え実践する人材を育成します。実践パイロット校におけるこれまでの取組をもとに、学識経験者や地域関係者等で構成する推進委員会での検討をふまえ、他者と協働する力や自己と社会の関わりを考える力など、これからの社会の変化に対応するために必要な力を育成する「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築します。

⑤ 教育改革推進事業

予算額 3,696千円

[教育政策課(224-2951)]

高等学校の活性化および今後のあり方を検討するため、広く多様な意見を聞く検討委員会を開催するとともに、令和3年度で終了する「県立高等学校活性化計画」の次期計画について三重県教育改革推進会議で審議します。また、伊勢志摩地域・伊賀地域・紀南地域等に設置した地域協議会を開催します。

⑥ 社会教育推進体制整備事業

予算額 2,525千円

[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

社会教育の振興を図るため、市町における社会教育委員や社会教育担当職員等を対象に研修や情報交換を行います。公民館等の社会教育施設において地域課題の解決に資する学びの場が創出されるよう講習等を実施するとともに、地域と学校をつなぐコーディネーターの資質向上を図る講座を開催します。また、国からの委託を受け、社会教育に関する施設や取組状況など基本的事項に係る統計調査を実施します。

⑦ (一部新) 鈴鹿青少年センター費

予算額 84,862千円

[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

心身ともに健全な青少年を育成するため、鈴鹿青少年センターを指定管理により運営し、施設利用者の増加や対象者の拡大および社会教育の普及・振興を図ります。また、鈴鹿青少年の森と一体となって、「民間活力の導入(PPP/PFIなど)」に向けた事業者公募の手続きなどの取組を進めます。

- ⑧ 世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進費 予算額 550 千円
[社会教育・文化財保護課(224-3328)]

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保存と活用のため、文化庁や奈良県・和歌山県および関係市町と連携した取組を行うとともに、新たな資産の基礎調査や講習会・講演会等を開催します。また、「海女漁の技術」をはじめとする無形文化遺産の魅力の発信や、全国の海女漁関係県との連携強化を進めます。

- ⑨ 地域文化財総合活性化事業 予算額 90,000 千円
[社会教育・文化財保護課(224-2999)]

国・県指定等の文化財の所有者等が行う文化財修復等の事業について、技術的な助言および必要な経費に対する支援を行うとともに、所有者等による保存・活用・継承の取組を促進します。

(6) 新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続

- ① 県立学校児童生徒等健康管理事業（一部） 予算額 47,426 千円
(県立学校消毒液等配備事業) [保健体育課(224-2969)]

新型コロナウイルス感染症対策のため、県立学校において使用する消毒液等を購入します。

- ② 高等学校運営費（一部） 予算額 120,400 千円
特別支援学校運営費（一部） 予算額 56,000 千円
(学校感染症対策強化事業) (※R2 年度 2 月補正予算)
[学校経理・施設課(224-2955)]

国事業を活用し、感染症対策を徹底して学校における教育活動を継続できるよう、衛生備品や衛生用品の配備などに取り組みます。

- ③ (新) 高校生安心安全通学支援事業 予算額 173,123 千円
<事業実施期間:令和3年度> [高校教育課(224-3002)]

県立高校の生徒の登下校時における「三つの密」を避け、安全で安心に通学できるよう、通学時における路線バス等の公共交通機関の乗車率が高く、さらに代替の交通手段がない学校において、登校時間の調整等では混雑を回避できない公共交通機関の路線に、スクールバスの増便等を行います。

- ④ 特別支援学校スクールバス等運行委託事業（一部） 予算額 161,060 千円
(特別支援学校スクールバス増便事業) [特別支援教育課(224-2961)]

特別支援学校に在籍する子どもたちの登校時における「三つの密」を避け、安全で安心に通学できるよう、スクールバスを増便して運行します。

- ⑤ 少人数教育推進事業（一部）（再掲） 予算額 836,355 千円
（少人数学級推進事業） [教職員課(224-2958)]

小学校の少人数学級について、国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことを踏まえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生の30人学級（下限25人）に加え、3年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境としていきます。中学校については、引き続き1年生での35人学級（下限25人）を実施します。

- ⑥ 学校における働き方改革推進事業（一部）（再掲） 予算額 235,093 千円
（スクール・サポート・スタッフ配置事業） [教職員課(224-2959)]

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため増大した業務に対応するため、感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、すべての公立学校に配置します。

※スクール・サポート・スタッフ：全572名（県立学校・小中学校配置）のうち、コロナ対応分として465名分

- ⑦ （一部新）高等学校学力向上推進事業（一部）（再掲） 予算額 36,542 千円
（ICT・オンライン教育推進事業） [高校教育課(224-3002)]

県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるため、GIGAスクールサポーターを配置するとともに、ICTを活用した授業において、著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担します。

- ⑧ （一部新）小中学校指導運営費（一部） 予算額 95,091 千円
（学習指導員配置事業） [小中学校教育課(224-2963)]

新型コロナウイルス感染症の影響下において、子どもたち一人ひとりの状況に応じて、補充的な学習の支援や授業における教員の補助を行う学習指導員を配置します。

- ⑨ 多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業（一部）（再掲）
予算額 4,760 千円
[小中学校教育課(224-2963)]

新型コロナウイルス感染症の影響下において、外国人児童生徒の日本語指導・適応指導に係る取組を行う市町に対して補助を行います。

- ⑩ 未来へつなぐキャリア教育推進事業（一部）（再掲） 予算額 7,162 千円
（高校生就職実現事業（コロナ対応分）） [高校教育課(224-3002)]

新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援、地域の魅力ある企業や仕事内容等を生徒に情報提供する就職実現コーディネーターを増員します。また、外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行います。

※就職実現コーディネーター：全17名のうち、コロナ対応分として5名分

- ⑪（新）特別活動支援事業 予算額 6,800 千円
＜事業実施期間：令和3年度＞ [高校教育課(224-3002)]

新型コロナウイルス感染症の影響により、県立学校が修学旅行を中止または延期した場合の企画料、学校の臨時休業によりやむを得ず中止した場合に発生するキャンセル料について、その経費を負担します。

- ⑫ 高校生等教育費負担軽減事業（一部） 予算額 91,882 千円
（高校生等奨学給付金事業） [教育財務課(224-2940)]

高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減する奨学給付金について、第一子への給付額を拡充するとともに、家庭でのオンライン学習に必要な通信費相当額を支給します。また、新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変世帯も給付対象とします。

「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」の育成

【予算額 合計 1,771,678千円】※2月補正予算を含むベース
 学力向上推進PT(224-2381) 教職員課(224-2368) 小中学校教育課(224-2963)
 社会教育・文化財保護課(224-3322) 保健体育課(224-2973)
 特別支援教育課(224-2361) 研修企画・支援課(226-3516) 高校教育課(224-3002)

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。また、「豊かな心」を育むため、道徳教育の推進体制を充実し、道徳性を養うとともに、読書習慣の定着のため、読書経験や本の楽しさを伝え合う取組を進めます。さらに、「健やかな身体」を育むため、スポーツの機会を拡充し、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組むとともに、生涯にわたり心身の健康を自ら管理できるよう、健康教育や食育に取り組みます。あわせて、外国人児童生徒が社会的に自立できる力を身につけるため、日本語指導に取り組むとともに、将来を見通した進路選択ができるよう支援します。

「確かな学力」の育成

学力向上推進事業

【予算額:24,544千円】

- ・「みえスタディ・チェック」の実施(第1回)と、CBT (Computer Based Testing) 化に対応した問題、ワークシートの作成
- ・小中学校のモデル校を指定し、学力向上アドバイザー(3名)の助言を得て、学習端末を活用した効果的な指導方法の研究

(新)ICTを活用した子ども一人ひとりの学びのつまずき克服事業【予算額:11,706千円】

- ・「みえスタディ・チェック」をCBTで実施し、わからなかった問題の学び直しや、国語、算数・数学のワークシートを単元別に提供できるシステムを構築
- ・(CBTによる「みえスタディ・チェック」は第2回(令和4年1月)から実施)

少人数教育推進事業【予算額:1,403,545千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数20人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)(定数20人)
- ・小学校3年生の35人学級(定数50人)・・・令和3年度からの取組
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人) *実情に応じて2,3年生への振替可
- ・習熟度別指導やチーム・ティーチングなどの少人数指導のための教員配置(定数36人、非常勤168人)
- ・これまでの少人数指導の取組をふまえ、効果的な少人数教育を推進



「豊かな心」の育成

道徳教育総合支援事業

【予算額:4,554千円】

学校へ道徳教育アドバイザーを派遣するなど、「考え、議論する道徳」の指導方法等の指導、助言

子どもと本をつなぐ環境整備促進事業【予算額:718千円】

- ・「第四次三重県子ども読書活動推進計画」に基づいた読書活動の推進
- ・家読(うちどく)、ビブリオバトルの普及啓発

「健やかな身体」の育成

みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業【予算額:5,965千円】

- ・オリンピック・パラリンピアンによる講演、模範演技
- ・元気アップ研修会等による体育授業の充実
- ・武道等指導充実・資質向上支援事業による武道等授業の充実

(一部新)みえ子どもの元気アップ部活動充実事業【予算額:48,543千円】

部活動指導員 45名増

- ・運動部活動指導員の配置85名(中学校65名、高校20名)
- ※部活動指導員:中学校の文化部配置分(15名)を含め、計100名の配置
- ・運動部活動サポーターの派遣50名(高校配置)
- ・休日の部活動を地域で実施する場合の課題に関する研究

運動部活動支援事業【予算額:93,215千円】

中学校の全国大会、高校の全国・ブロック大会への出場に要する費用の負担

外国人児童生徒教育の推進

多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業

【予算額:32,677千円】

- ・外国人児童生徒の受入れや日本語指導・適応指導等に係る市町の取組への支援
- ・学び直し教室を試行的に実施し、夜間中学等の就学機会確保の方策を検討

(一部新)社会的自立をめざす外国人生徒支援事業

【予算額:21,811千円】

- ・学習支援や進路相談を行う専門員6名、日本語指導アドバイザー1名を県立高校に配置
- ・日本語や日本の社会制度、文化を学ぶ「日本語学習クラブ」を開設

未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部)

(高校生就職実現事業(外国人生徒等対応分))

【予算額:7,386千円】

外国人や障がいのある生徒に、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行う就職実現コーディネーター(5名)を増員

早期からの一貫した教育支援体制整備事業(一部)

(特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業)

【予算額:2,804千円】

通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置

幼児教育の推進

(一部新)就学前教育の質向上事業

【予算額:3,210千円】

(114,210千円 ※R2年度2月補正予算を含むベース)

- ・幼児教育センターに幼児教育スーパーバイザーを配置するとともに、幼児教育アドバイザーを市町へ派遣
- ・公立幼稚園における衛生物品やICT環境の整備に対し補助

自分のよさや可能性を認識し、夢と志を持って可能性へ挑戦!

未来を創造する力の育成

【予算額 合計 610,165千円】 ※2月補正予算を含むベース
教育政策課(224-2951)、高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2963)

変化が激しく予測困難な社会にあっても、子どもたちが社会の一員として自覚と責任を持って、主体的に行動できる力を育みます。ICT環境を活用して、情報活用能力の向上や、一人ひとりに応じた基礎学力の定着、子どもたちの学びを広げ、深める授業に取り組むとともに、感染症や災害発生時の緊急時における学びの継続や、他県や海外の学校を結んで行う学習活動など、オンライン教育の取組を進めます。また、英語教育や郷土教育を推進し、世界や地域で活躍できるグローバル人材の育成や、地域や企業と連携したキャリア教育を推進します。

キャリア教育の充実

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業【予算額 20,907千円】

- 実践パイロット校(10校)を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- 地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むこととおし、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力等、これからの社会の変化に対応する力を育成

＜取組例＞志摩高校
フィールドワークやインターンシップ等を通じて地域を知り、全員が3年間かけて地域課題の解決を考える学び
これまでの取組をふまえ、令和3年度に「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築



フィールドワーク

未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部再掲)【予算額 27,036千円】

一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援、地域の魅力ある企業や仕事内容等を生徒に情報提供する就職実現コーディネーターを増員

＜就職実現コーディネーター 17名＞ **5名を増員!**

拠点校配置 12名(うち、コロナ対応分3名)
外国人・障がいのある生徒支援 5名(うち、コロナ対応分2名))

(新) マナビバミエ若き起業家育成事業【予算額 6,348千円】

※県民参加型予算事業

- 起業家の講演や指導により、商品開発や市場開拓について学び、コミュニケーション能力など、将来の起業につながる資質・能力を育成
- 高校生ならではの発想を生かしたビジネスプランの作成



(一部新) 地域とつなぐ職業教育充実支援事業【予算額 29,542千円】

(1,818,602千円 ※令和2年度2月補正予算を含むベース)

- 技術革新の進展やデジタル化に対応した産業教育設備や機器を整備(数値制御工作装置など)
- 地域産業の核となる人材を育成するための指導に係る研究
- すべての県立農業高等学校(5校)でGAP教育を推進

(新) 実習船建造事業【予算額 12,606千円】

水産高校における新しい実習船の建造に係る設計

知識を活用して新たな価値を創りだす力の育成

学びのSTEAM化推進事業【予算額 2,825千円】

＜STEAM教育＞

Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsを活用した文理融合・教科横断的な学びを通して、論理的思考力や探究力を育成

＜取組例①＞四日市南高校
福祉・経済・環境等の視点から誰もが住みやすい街づくりについてアイデアを出し合い、未来の四日市の街づくりに係る具体的な解決策を考える学び



＜取組例②＞宇治山田商業高校
数学、家庭科やマーケティングなど、各教科の学習をつなげ、より良い商品やレシピの開発を考える学び



情報教育充実支援事業【予算額 275,334千円】

(436,074千円 ※令和2年度2月補正予算を含むベース)

- 教科「情報」で学ぶプログラミング教育や情報デザインなど、専門的な実習に対応する学習用端末を整備
- 学びの保障と教育の機会均等の観点から、低所得世帯の高校生に対する貸与等を目的とした国の補助金を活用し、生徒への貸与や学校で活用するための学習用端末を整備

(一部新) 高等学校学力向上推進事業

【予算額 61,101千円】

- 県立高校3校をモデル校に指定して、AIドリル教材を活用し、学力の定着状況や学習意欲の変容を把握し、一人ひとりに応じた効果的な学びに係る検証に取り組み、授業改善
- ICT環境を活用し、複数の学校をつなぎ他校の授業を受講できる遠隔授業の研究
- 県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるため、GI GAスクールサポーターを配置
- ICTを活用した授業において著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担

グローバル教育の推進

世界へはばたく高校生育成支援事業

【予算額 11,803千円】

- レベル別英語ディベートセミナーの実施
- 高校生の留学支援
- 海外研修旅行の実施
- 三重県高等学校科学オリンピック大会の開催



英語教育推進事業

【予算額 1,642千円】

- 中学校のモデル地域を指定し、英語の音声付きウェブ教材を活用し、授業改善
- 小中学校教員を対象に、英語の授業改善に係る研修会を実施
- 郷土の魅力を英語で発信するワン・ペーパー・コンテストの開催

課題解決型学習(PBL)を通じた新しい郷土教育推進事業【予算額 281千円】

中学生が地域に関わる課題について解決策を考え、提案する取組を支援し、その成果を他市町の生徒と交流



特別支援教育の推進

【予算額 合計 301,901千円】

特別支援教育課（224-2961）、研修推進課（226-3572）、学校経理・施設課（224-2955）

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支える教育を推進するため、「パーソナルファイル」を活用して支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。さらに、特別支援学校における施設の狭隘化や老朽化に対応するため、移転や改修に向けた取組を進め、子どもたちの学ぶ環境を整えます。

特別支援教育の推進

◇早期からの一貫した教育支援体制整備事業（一部再掲） [予算額 18,007千円] ◇特別支援学校メディカル・サポート事業 [予算額 5,501千円]

○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・「パーソナルファイル」の活用促進と、支援情報の円滑な引き継ぎ
- ・発達障がい支援員3名による高等学校への巡回相談
- ・通級による指導担当教員等の専門性の向上
- ・特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・市町教育委員会と連携した就学支援
- ・特別支援学校に在籍する外国人児童生徒等への支援（通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置）
- ・高等学校における通級による指導の充実と拡充
- ・交流及び共同学習の充実

8-777774



○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・実施校：特別支援学校7校
- ・常勤講師（看護師免許有）および教員が連携した医療的ケアの実施
- ・医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・指導医等による巡回指導および相談

◇特別支援教育に係る教職員研修

（教職員研修事業の一部） [予算額 170千円]

○特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・職種や経験年数に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修の実施
- ・特別支援学級等の新担当教員が特別支援学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修の実施

進路希望の実現

◇特別支援学校就労推進事業 [予算額 6,207千円]

○外部人材を活用した支援を実施

- ・生徒の適性に合った職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓（キャリア教育サポーター4名を配置）

○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・企業等と連携した技能講習、技能検定を実施（清掃、看護・介助業務補助）

施設の狭隘化・老朽化への対応

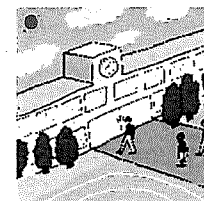
◇特別支援学校施設建築費 [予算額 272,016千円]

○杉の子特別支援学校石薬師分校の改修

- ・知的障がいのある中学部生徒が学習できるよう校舎の一部改修に係る設計を実施
 - ※鈴鹿・亀山地区の肢体不自由のある児童生徒が、令和5年度から杉の子特別支援学校に通学できるよう通学区域の見直し

○盲学校・聾学校の移転

- ・城山特別支援学校の隣地への移転に向けて、新たな校舎および寄宿舎の建築に係る設計を実施



安全で安心な学びの場づくり

【予算額 合計 2,102,303千円】

生徒指導課(224-2332)、研修企画・支援課(226-3516)、教育総務課(224-3301)、学校経営・施設課(224-2955)

「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして社会総がかりで取り組みます。不登校児童生徒へのきめ細かな支援をより効果的に行うため、心理や福祉の専門的見地からの支援を行う専門人材の配置を拡充するとともに、有識者の助言を得て行う訪問型支援や、教育支援センターを核とした不登校支援に取り組みます。県立学校施設の長寿命化計画に基づき、トイレの洋式化など設備面での機能向上も含め、計画的な老朽化対策に取り組むとともに、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進め、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを進めます。

いじめや暴力のない学校づくり

【一部新】いじめ対策推進事業 【予算額 13,040千円】

- 主体的な活動の推進
 - ・中学生と高校生がいじめをテーマにした紙芝居を創作し、小学校等で上演することを通じて、いじめを自分事として考える機会を創出
- 専門家との連携による支援
 - ・弁護士によるいじめ防止授業や、学校だけでは解決が困難な事案への支援
- インターネットの適正利用
 - ・ネット上の不適切な書き込みを検索するネットパトロールを年間をとおして実施
 - ・ネット上の不適切な書き込みを発見した場合に、その内容を投稿できるアプリ「ネットみえ〜る」を引き続き運用
 - ・いじめや誹謗中傷について考え、学ぶことができる教材を作成



【一部新】スクールカウンセラー等活用事業 【予算額 361,973千円】

- ・スクールカウンセラー（臨床心理士等）配置拡充
小中学校 151中学校区 高等学校 56校
新たに特別支援学校8校、教育支援センター17か所にも配置
- ・スクールソーシャルワーカー（社会福祉士等）配置拡充
社会福祉等の専門的知識・技術による支援
福祉機関等の関係機関と連携した支援
- ・教育相談員の新たな配置
中学校と高校に配置し、児童生徒の日常的なストレスや悩みに対応

【SC】中学校区、高校
⇒1時間/週の配置時間の増
【SSW】⇒19名体制（6名分増）

【一部新】教育相談事業（一部）
【予算額 11,007千円】
（SNSを活用した相談事業）

- ・いじめ等の早期発見、早期対応を図るためのSNS相談（「子どもSNS相談みえ」）を実施 ※外国人生徒対応も含む



<< 令和3年度における専門人材の配置 >>（各事業計上分の合計）※（ ）内は前年度からの増加分

【スクールカウンセラー】
予算額（単位：千円）
R3:289,932（+49,750/+20.7%）
配置時間数（単位：時間）
R3:62,969（+10,729/+20.5%）

【スクールソーシャルワーカー】
予算額（単位：千円）
R3:62,445（+19,673/+46.0%）
配置時間数（単位：時間）
R3:13,705（+4,297/+45.7%）

【教育相談員】（新規）
予算額（単位：千円）
R3:28,275
配置時間数（単位：時間）
R3:15,840

不登校児童生徒への支援

【一部新】不登校対策事業 【予算額 29,258千円】

教育支援センターの機能強化！



- 教育支援センターを核とした不登校支援
 - ・モデルとなる教育支援センターを3か所指定し、SCとSSWを配置し、専門的見地からの支援を実施。
（SC：他センター17か所にも配置 ※スクールカウンセラー等活用事業の再出）
 - ・不登校支援アドバイザーの助言を得ながら訪問型支援を進める
- 不登校支援事例のデータベース化
 - ・不登校の背景や要因、学校の対応や専門家による相談状況とその結果をデータベース化
- レジリエンス教育
 - ・ストレスや不安をうまく受け止め、回復する力を高める「レジリエンス教育」に取り組むため、大学の有識者と連携して実践プログラムを作成し、2つの中学校区で実施
- 民間団体（フリースクール等）との連携
 - ・フリースクール等が行う不登校児童生徒の体験学習等の費用を支援
 - ・不登校に関わる各分野の団体等が参画するネットワークとの連携

防災教育・防災対策の推進

【一部新】学校防災推進事業 【予算額 12,970千円】

- ・防災ノートを活用した学習 ・体験型防災学習等の支援
- ・東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学习
- ・学校防災リーダー等教職員研修の実施



【一部新】災害時学校支援事業 【予算額 1,732千円】

- ・「三重県災害時学校支援チーム」において、避難所の開設・運営や学校の再開準備などを行うため、災害時の学校運営に関する専門的知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成
（令和3年度までに80名を育成予定）



【一部新】校舎その他建築費 【予算額 1,672,323千円】

- ・県立学校施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策を実施
※トイレ洋式化改修工事は新たに11校で設計を実施

地域との協働と信頼される学校づくり

【予算額 合計 531,459千円】
 小中学校教育課 (224-2963) 研修推進課 (226-3572) 教職員課 (224-2959) 教育政策課 (224-2951) 社会教育・文化財保護課 (224-3322)

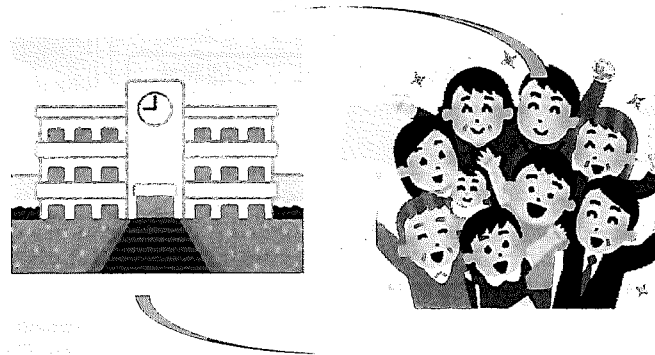
学校・家庭・地域が一体となった教育活動を進めるため、コミュニティ・スクールの仕組みを導入する市町や学校の拡充に取り組みます。県立高校の特色化・魅力化を進めるとともに、これからの高校生に必要な学びを実現する高校のあり方について検討を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、経験や職種に応じた研修を計画的に実施します。効果的な教育活動を行うとともに、教職員の働き方改革を進めるため、専門スタッフや外部人材等の配置を充実します。さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝え、活用されるための取組を推進します。

◇地域とともにある学校づくり

地域と学校の連携・協働体制構築事業

【予算額 6,226千円】

- ・「地域未来塾」などの学習支援をはじめとする地域学校協働活動に係る経費の補助
- ・学校と地域住民等をつなぐコーディネーターの育成のための研修会の実施
- ・地域とともにある学校づくりサポーターを市町や学校に派遣し、コミュニティ・スクールの拡充や地域学校協働活動の充実を図るための指導・助言の実施



◇社会教育の推進と地域の教育力の向上

社会教育推進体制整備事業

【予算額 2,525千円】

市町や地域の社会教育関係者を対象とした研修会や、公民館と連携した地域課題解決型の講習等の実施

(一部新) 鈴鹿青少年センター費

【予算額 84,862千円】

「民間活力の導入(PPP/PFIなど)」に向けた事業者公募の手続きなどの取組

◇教職員の資質向上と学校における働き方改革の推進

教職員研修事業(一部再掲)

【予算額 27,765千円】

「令和3年度三重県教員研修計画」に基づき、主体的・対話的で深い学びの授業改善につながる研修や、ICT活用指導力の向上に向けた研修等を計画的に実施

学校における働き方改革推進事業

【予算額 294,928千円】

感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、すべての公立学校に配置

小中学校 397名増員(R2:100名⇒R3:497名)
 県立学校 68名増員(R2:7名⇒R3:75名)

※当初予算対比



◇学校の特色化・魅力化

地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業(再掲)

【予算額 20,907千円】

- ・実践パイロット校(10校)を指定し、高校生が地域の課題や産業等を題材にした新しいキャリア教育モデルを展開
- ・地域住民や職業人と関わりながら、実社会での実践活動に取り組むこととおし、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働する力や、自己と社会の関わりを深く考える力等、これからの社会の変化に対応する力を育成
- ・これまでの取組をふまえ、令和3年度に「地域課題解決型キャリア教育」のモデルを構築

教育改革推進事業

【予算額 3,696千円】

高等学校の活性化および今後のあり方を検討するため、広く多様な意見を聞く検討委員会を開催するとともに、令和3年度で終了する「県立高等学校活性化計画」の次期計画について三重県教育改革推進会議で審議

◇文化財の保存・継承・活用

世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進費

【予算額 550千円】

- ・近隣県と連携した取組の実施
- ・新たな文化資産の情報収集を中心とする基礎的な調査
- ・講演会等の実施

地域文化財総合活性化事業

【予算額 90,000千円】

国・県指定等文化財の所有者等が行う文化財修復等の保存事業を支援



新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続

【予算額 合計 1,871,694千円】 ※2月補正予算を含むベース
 保健体育課(224-2969) 学校経理・施設課(224-2955)
 高校教育課(224-3002) 特別支援教育課(224-2961)
 教職員課(224-2959) 小中学校教育課(224-2963)
 教育財務課(224-2940)

令和2年度の取組をふまえ、衛生物品の配備や、登下校時における「三つの密」を避けるためスクールバスの増便、教員の業務支援を行うスクールサポート・スタッフの配置など、学校における感染防止対策を講じます。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、高校生一人ひとりの希望に応じた就職が実現できるよう支援を行うとともに、補充的な学習に係る支援、奨学給付金の増額などに取り組みます。

感染防止対策

衛生物品等の配備

県立学校児童生徒等健康管理事業（一部）
 （県立学校消毒液等配備事業） [予算額 47,426千円]
 県立学校(75校)において消毒液等を購入し、配備

高等学校運営費（一部） [予算額 120,400千円]
 特別支援学校運営費（一部） [予算額 56,000千円]
 （学校感染症対策強化事業） ※令和2年度2月補正予算
 ・感染症対策を徹底して学校における教育活動を継続できるよう、各学校の状況に応じて感染症対策を強化
 ・衛生備品や衛生用品などの整備、購入 等

安全・安心な学校活動

少人数教育推進事業（一部）（再掲） [予算額 836,355千円]
 （少人数学級推進事業）
 ・国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことを踏まえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生の30人学級(下限25人)に加え、3年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境としていく
 ・中学校については、引き続き1年生での35人学級(下限25人)を実施

学校における働き方改革推進事業（一部）（再掲） [予算額 235,093千円]
 （スクール・サポート・スタッフ配置事業）
 感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、すべての公立学校に配置
 ※全572名(県立学校・小中学校配置)のうち、コロナ対応分として465名分

通学時の安全確保

（新）高校生安心安全通学支援事業
 [予算額 173,123千円]
 県立高校生徒の登下校時における「三つの密」を避けるため、公共交通機関の乗車率が高く、代替の交通手段がない学校11校において、スクールバスを増便

特別支援学校スクールバス等運行委託事業（一部） [予算額 161,060千円]
 （特別支援学校スクールバス増便事業）
 特別支援学校に在籍する子どもたちの登校時における「三つの密」を避けるため、スクールバス12台を増便



学習支援・学びの継続

（一部新）高等学校学力向上推進事業（一部）（再掲）
 （ICT・オンライン教育推進事業） [予算額 36,542千円]
 ・県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるため、GIGAスクールサポーターを配置
 ・ICTを活用した授業において、著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担

（一部新）小中学校指導運営費（一部）
 （学習指導員配置事業） [予算額 95,091千円]
 子どもたち一人ひとりの状況に応じて、補充的な学習の支援や授業における教員の補助を行う学習指導員(151名)を配置

多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業（一部）
 （再掲） [予算額 4,760千円]
 外国人児童生徒の日本語指導・適応指導に係る取組を行う市町に対して補助

就職・特別活動等への支援

未来へつなぐキャリア教育推進事業（一部）（再掲）
 （高校生就職実現事業(コロナ対応分)） [予算額 7,162千円]
 就職実現コーディネーターを増員
 ※全17名のうち、コロナ対応分として5名分

（新）特別活動支援事業 [予算額 6,800千円]
 修学旅行を中止または延期した場合に発生する企画料や、臨時休業に伴うキャンセル料を負担

高校生等教育費負担軽減事業（一部）
 （高校生等奨学給付金事業） [予算額 91,882千円]
 ・住民税非課税世帯の第一子に係る給付額の拡充
 ・家庭でのオンライン学習に必要な通信費相当額を支給
 ・新型コロナの影響による家計急変世帯への支援

その他の主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	
《政策名：人権の尊重とダイバーシティ社会の推進》	
〈施策名：(211) 人権が尊重される社会づくり〉	
1 人権感覚あふれる学校づくり事業	548千円
	【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)	
子ども一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」が教育活動全体を通じて進められるよう、人権学習指導資料の効果的な活用や人権教育カリキュラムに関する実践研究等を行い、その成果を報告書や研修等で、全ての県立学校に広めていきます。	
2 子ども支援ネットワーク・アクション事業	2,477千円
	【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)	
教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情を高め、「人権尊重の地域づくり」が促進されるよう、中学校区の「子ども支援ネットワーク」の活動を推進します。	
3 人権教育研究推進事業	3,356千円
	【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)	
指定小中学校および指定中学校区において、三重県人権教育基本方針に即した「人権感覚あふれる学校づくり」の効果的な取組についての研究や人権教育カリキュラムに関する研究を行い、その普及をとおして、県内の人権教育を推進します。	
4 人権教育研修事業	1,117千円
	【(21102) 人権教育の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 6 人権教育費)	
全ての学校で人権教育を推進するため、小中学校、県立学校の管理職等を対象とした研修を実施します。また、県立学校において、学校や地域で人権教育推進のリーダーとなって実践できる人材を養成します。	

《政策名：学びの充実》

〈施策名：(221) 子どもの未来の礎となる「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の育成〉

- 1 みえの学力向上県民運動推進事業 644千円
【(22101) 学力の育成】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 2 事務局費)

子どもたちの学力向上に向け、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進するため、みえの学力向上県民運動推進会議を開催し、今後の取組について協議します。推進会議の委員や有識者による家庭学習や読書習慣等に係る講演について、保護者や地域の方に向けてオンデマンドで配信します。現在、実施している「生活習慣・読書習慣チェックシート」を、子どもたちの1人1台端末を活用して提供できるよう取り組みます。

- 2 学校保健総合支援事業 645千円
【(22103) 体力の向上と健康教育の推進】

(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1 保健体育総務費)

子どもたちが健康に関する正しい知識を身につけ、理解を深めることができるよう、専門医等を学校に派遣するなど、学校における健康教育の充実を図ります。

- 3 がんの教育総合推進事業 433千円
【(22103) 体力の向上と健康教育の推進】

(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1 保健体育総務費)

教職員が、がんに関する教育の意義を理解し、指導内容・方法等についての専門的な知識を習得できるよう、研修会等をとおして資質向上を図ります。

- 4 学校給食・食育推進事業 174千円
【(22103) 体力の向上と健康教育の推進】

(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1 保健体育総務費)

朝食メニューコンクールの実施等を通じて食育を推進するとともに、学校給食の衛生管理等の徹底を図ります。

- 5 高校芸術文化祭費 3,867千円
【(22104) 読書活動・文化芸術活動の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

音楽、美術、演劇など高校生の芸術文化の技術と創造力を磨き、芸術文化活動の活性化を図るとともに、生徒相互の交流を深め、豊かな人間性を育成するため、みえ高文祭の開催や全国および近畿高等学校総合文化祭等への生徒派遣を支援します。

〈施策名：(224) 安全で安心な学びの場づくり〉

1 学校安全推進事業

3,000千円

【(22404) 子どもたちの安全・安心の確保】

(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)

学校における安全推進体制を構築するため、学校安全アドバイザーを委嘱し、モデル地域(1市町)で通学路の安全点検や安全マップづくりを実施します。通学路における児童生徒の安全確保のため、見守り活動の中心となるスクールガード・リーダーを育成するとともに、地域のスクールガード(学校安全ボランティア)の養成および活動支援を行います。また、県内の公立学校の教員を対象に校種別の講習会を行い、交通安全および防犯対策の指導者を養成し、各学校での交通安全教育・防犯教育を進めます。

〈施策名：(225) 地域との協働と信頼される学校づくり〉

1 教育相談事業(一部再掲)

60,255千円

【(22503) 教職員の資質向上】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 5総合教育センター費)

臨床心理相談専門員を配置して、子どもたちの心の問題の解決に向けた専門的教育相談を実施するとともに、学校の教育相談体制を支援するため学校等に派遣します。また、教職員の教育相談に係る力量の向上と、校内の教育相談体制づくりを推進する中核的リーダーの育成をめざした教育相談研修を実施します。さらに、いじめ電話相談、多言語でも相談できる「子どもSNS相談みえ」を実施します。

2 県立学校教職員健康管理対策費

59,599千円

【(22503) 教職員の資質向上】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 8教職員厚生費)

県立学校教職員の生活習慣病等を早期発見・早期治療するため、定期健康診断を実施し検査結果を適正に管理するほか、生活習慣病予防として健康診断事後指導を実施します。

また、時間外労働等のデータを管理する「過重労働対策報告システム」を活用し、産業医の指導・面接をとおして過重労働による健康障害の予防を図ります。

3 教職員メンタルヘルス対策費

2,433千円

【(22503) 教職員の資質向上】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 8教職員厚生費)

教職員の精神神経系疾患を予防するため、心の健康について正しく認識し、自らが早期に気づき、適切に対処できるよう研修や啓発を行うとともに、臨床心理士によるカウンセリングを実施します。また、教職員が早期に病気回復と職場復帰を果たせるよう、精神科医による管理職とのケースカンファレンスを実施します。

〈施策名：(227) 文化と生涯学習の振興〉

- 1 文化財保存管理事業 6,171千円
【(22702) 文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)
令和2年に策定した文化財保存活用大綱に基づき、文化財保護審議会の審議等を通じ、県内の貴重な文化財が適切に保存・活用・継承等の措置が図られるよう、市町や文化財所有者への支援を行います。また、国・県指定等文化財が持つ魅力の情報発信を行うとともに、適切に保存されるよう巡視を行います。

- 2 埋蔵文化財センター管理運営費 7,667千円
【(22702) 文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)
埋蔵文化財に係る必要な発掘調査や適切な保存管理を行うとともに、県民への公開・普及を行います。また、子どもたちが郷土への愛着を持てるよう文化財を活用した出前授業等を行います。

- 3 受託発掘調査事業 355,600千円
【(22702) 文化財の保存・活用・継承】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)
国等が実施する事業地内にある埋蔵文化財を適切に保護するための調整を行うとともに、必要となる発掘調査と記録作成を行います。

- 4 熊野少年自然の家費 43,311千円
【(22704) 社会教育の推進と地域の教育力の向上】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1社会教育総務費)
自然の中で心身ともに健全な少年を育成するため、熊野少年自然の家を指定管理により運営し、施設利用者の増加および社会教育の普及・振興を図るとともに、効率的な管理運営を行います。

《政策名：希望がかなう少子化対策の推進》

〈施策名：(233) 子育て支援と幼児教育・保育の充実〉

- 1 高等学校等進学支援事業 140,556千円
【(23303) 子どもの貧困対策の推進】
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)
高等学校・高等専門学校生徒に対する修学奨学金の貸与等により、経済的な理由で修学が困難な生徒を支援します。

2 高校生等教育費負担軽減事業（一部再掲）

3,669,816千円

【（23303）子どもの貧困対策の推進】

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

就学支援金や奨学給付金等を支給し、高等学校等における保護者等の教育費負担の軽減を図ります。高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減する奨学給付金について、第一子への給付額を拡充するとともに、家庭でのオンライン学習に必要な通信費相当額を支給します。また、新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変世帯も給付対象とします。

債務負担行為

(単位:千円)

事 項	期 間	限度額
統一校務支援システムサーバ更新及び運用保守業務委託に係る契約	令和4年度 ～令和9年度	50,396
みえスタディ・チェック等システム運用保守業務委託に係る契約	令和4年度 ～令和7年度	7,600
不登校支援事例データベースシステム構築及び運用保守業務委託に係る契約	令和4年度 ～令和5年度	2,646
県立学校における情報教育用パソコンのリースに係る契約	令和4年度 ～令和8年度	259,634
コンピュータネットワーク総合研修システム再リースに係る契約	令和4年度	4,726
盲学校および聾学校校舎移転等工事設計委託に係る契約	令和4年度	217,500
教職員人事管理システム保守委託に係る契約	令和4年度	3,419
教職員人事管理システム保守SEサポート業務委託に係る契約	令和4年度	1,898
教職員人事管理システムデータ抽出業務委託に係る契約	令和4年度	2,376
教職員人事管理システム用サーバ機器の賃貸借に係る契約	令和4年度	1,784
教職員人事管理システム用ファイアウォール機器の賃貸借に係る契約	令和4年度	367
教職員人事管理システム用データセンターハウジングサービスに係る契約	令和4年度	991
高等学校等修学奨学金返還金の口座振替収納に関する事務処理業務委託に係る契約	令和4年度 ～令和5年度	2,470
学校納付金口座振替収納に関する事務処理委託に係る契約	令和4年度 ～令和5年度	17,452
高等学校等就学支援金に係る支給	令和4年度	527,904
学び直し支援金に係る支給	令和4年度	108

議案第57号

令和2年度三重県一般会計補正予算(第14号)

【教育委員会関係】

歳出補正予算

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	補正後の額
教育費	教育総務費	25,588,479	▲ 413,529	25,174,950
	小学校費	54,132,382	▲ 296,657	53,835,725
	中学校費	29,638,669	▲ 233,430	29,405,239
	高等学校費	36,371,185	▲ 86,240	36,284,945
	特別支援学校費	12,856,640	▲ 102,689	12,753,951
	社会教育費	685,143	▲ 103,813	581,330
	保健体育費	449,414	▲ 13,793	435,621
合計		159,721,912	▲ 1,250,151	158,471,761

歳出補正予算の主な内訳

(単位:千円)

事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	内容
教育総務費				
教職員退職手当	13,868,494	▲ 183,101	13,685,393	退職手当の再算定による減額
高校生等教育費負担軽減事業費	3,935,818	▲ 155,611	3,780,207	高校生等奨学給付金および高等学校等就学支援金等の実績見込の精査による減額
小学校費				
小学校人件費	52,706,885	▲ 132,110	52,574,775	人件費の再算定による減額
中学校費				
中学校人件費	28,767,184	▲ 94,605	28,672,579	人件費の再算定による減額
高等学校費				
校舎その他建築費	3,044,492	▲ 128,943	2,915,549	入札差金による工事請負費等の減額
高等学校人件費	27,905,772	▲ 83,667	27,822,105	人件費の再算定による減額
情報教育充実支援事業費	1,209,306	196,181	1,405,487	県立高等学校において、一人ひとりに応じた学びや、協働的な学びをより効果的に進めるため、学習用端末を整備することによる増額
特別支援学校費				
特別支援学校人件費	10,359,198	▲ 19,706	10,339,492	人件費の再算定による減額
社会教育費				
受託発掘調査事業費	414,675	▲ 113,246	301,429	国および中日本高速道路株式会社等からの受託事業の減による減額
保健体育費				
みえ子どもの元気アップ部活動充実事業費	28,563	▲ 9,668	18,895	部活動指導員数の確定による市町補助の減額

繰越明許費

(単位:千円)

事業名	内容	金額	繰越理由
高等学校費 校舎その他建築費	高等学校トイレ洋式化改修工事	1,237,661	国の令和2年度補正予算に係る事業であり、事業の実施にあたっては、学校の教育活動への影響をふまえ、休日や長期休業期間等を利用して工事を行う必要があり、年度内の工事の完了が困難なため。
	高等学校空調整備工事	58,000	国の令和2年度補正予算に係る事業であり、事業の実施にあたっては、学校の教育活動への影響をふまえ、休日や長期休業期間等を利用して工事を行う必要があり、年度内の工事の完了が困難なため。
	石薬師高等学校武道場等空調整備工事	40,000	国の令和2年度補正予算に係る事業であり、事業の実施にあたっては、学校の教育活動への影響をふまえ、休日や長期休業期間等を利用して工事を行う必要があり、年度内の工事の完了が困難なため。
	情報教育充実支援事業費	県立高等学校における学習用情報端末の整備	209,575
特別支援学校費 特別支援学校施設建築費	玉城わかば学園体育館空調工事	26,817	国の令和2年度補正予算に係る事業であり、事業の実施にあたっては、学校の教育活動への影響をふまえ、休日や長期休業期間等を利用して工事を行う必要があり、年度内の工事の完了が困難なため。
	特別支援学校厨房等改修工事	332,812	国の令和2年度補正予算に係る事業であり、事業の実施にあたっては、学校の教育活動への影響をふまえ、休日や長期休業期間等を利用して工事を行う必要があり、年度内の工事の完了が困難なため。
合 計		1,904,865	

I 議案補充説明

議案第40号

「公立学校の会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び 期末手当に関する条例の一部を改正する条例案」

1 改正理由

公立学校職員の期末手当の支給割合の改正等に鑑み、公立学校の会計年度任用職員の期末手当の支給割合の改正を行うものである。

2 改正内容

会計年度任用職員の期末手当について、年間支給割合を100分の255（現行100分の260）に改める。

3 施行期日

令和3年4月1日から施行する。

【参考】期末手当の支給割合

6月	12月	計
1.275月 (現行1.30月)	1.275月 (現行1.30月)	2.55月 (現行2.60月)

II 所管事項説明

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告について

第1号様式(条例第5条関係)

予算に関する補助金等に係る資料(令和3年度三重県一般会計予算)

(部局名:教育委員会)(単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室) 名	支出科目			
								款	項	目	事業名
1	全国・ブロック高等学校等体育大会派遣費補助金	三重県高等学校体育連盟 鈴鹿市稲生町 8232-1	41,067 (R3.4)	高等学校等の全国及びブロック体育大会へ生徒を派遣するために要する経費を補助する。	(目的・理由) 高等学校等の生徒を県外の体育大会へ派遣することにより、スポーツ水準の向上と運動部活動の活性化を図る。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	高等学校等の生徒を県外の体育大会へ派遣する経費を補助することにより、県内スポーツ水準の向上を図るものであり、公益性を有する。	保健体育課	教育費	保健体育費	体育振興費	運動部活動支援事業費
2	文化財保護事業補助金	公益財団法人諸戸財団 桑名市太一丸18	28,495 (R4.3)	文化財の所有者、管理団体、保護関係団体及び市町が実施する文化財の保存事業及び保存施設整備に要する経費の一部を負担する。	(目的) 指定文化財等の保存事業に対して財政的支援を行い、その適切な保存等を図る。 (理由) 事業者の負担を軽減することで、保存事業を行いやすくし、文化財等が適切に保存され、県民共有の財産として活用されることにつながる。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解し、将来の文化の向上発展に資する重要なものであり、その保存事業を支援することは公益性を有する。	社会教育・文化財保護課	同上	社会教育費	文化財保護費	文化財管理費

※番号欄は各年度予算の通し番号となっています。

予算に関する補助金等に係る資料(令和3年度三重県一般会計予算)

(部局名:教育委員会)(単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
3	文化財保護事業補助金	宗教法人春日神社 伊賀市川東613	22,000 (R4.3)	文化財の所有者、管理団体、保護関係団体及び市町が実施する文化財の保存事業及び保存施設整備に要する経費の一部を負担する。	(目的) 指定文化財等の保存事業に対して財政的支援を行い、その適切な保存等を図る。 (理由) 事業者の負担を軽減することで、保存事業を行いやすくし、文化財等が適切に保存され、県民共有の財産として活用されることにつながる。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解し、将来の文化の向上発展に資する重要なものであり、その保存事業を支援することは公益性を有する。	社会教育・文化財保護課	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財管理費

※番号欄は各年度予算の通し番号となっています。

予算に関する補助金等に係る資料(令和2年度三重県一般会計補正予算(第14号))

(部局名:教育委員会) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
5	文化財保護事業補助金	明和町 多気郡明和町馬之上945	24,296 (R3.3)	文化財の所有者、管理団体、保護関係団体及び市町が実施する文化財の保存事業及び保存施設整備に要する経費の一部を負担する。	(目的) 指定文化財等の保存事業に対して財政的支援を行い、その適切な保存等を図る。 (理由) 事業者の負担を軽減することで、保存事業を行いやすくし、文化財等が適切に保存され、県民共有の財産として活用されることにつながる。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解し、将来の文化の向上発展に資する重要なものであり、その保存事業を支援することは公益性を有する。	社会教育・文化財保護課	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財管理費

※番号欄は各年度予算の通し番号となっています。